

平成 28 年 1 2 月 1 日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,368	8,774	4,422	4,352	15	13
2 千 石	3,934	6,756	3,403	3,353	△ 21	△ 22
3 内 山	5,280	7,482	3,957	3,525	18	17
4 大 和	3,364	6,618	3,268	3,350	△ 11	△ 1
5 上 野	7,273	15,452	7,712	7,740	△ 3	△ 10
6 高 見	7,160	13,391	6,432	6,959	△ 9	△ 8
7 春 岡	6,711	10,819	5,702	5,117	10	22
8 田 代	11,373	21,744	10,470	11,274	△ 30	△ 25
9 東 山	10,215	19,304	9,509	9,795	2	18
10 見 付	4,564	8,451	4,268	4,183	△ 6	△ 8
11 星 ケ 丘	3,509	6,901	3,156	3,745	1	12
12 自由ケ丘	3,558	7,315	3,325	3,990	△ 1	△ 1
13 富士見台	6,418	15,464	7,160	8,304	3	6
14 宮 根	3,762	8,385	4,010	4,375	8	5
15 千代田橋	3,567	8,525	3,974	4,551	5	△ 1
千 種 区 計	86,056	165,381	80,768	84,613	△ 19	17
H27.12.1	83,693	164,656	80,283	84,373	△ 34	4
対 前 年 比	2,363	725	485	240	15	13
名 古 屋 市	1,074,678	2,307,668	1,139,347	1,168,321	851	877
愛 知 県 (H28.11.1)	3,112,394	7,511,115	3,757,855	3,753,260	3,467	3,424

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	111	134	△ 23	1,083	1,043	40

【参考】

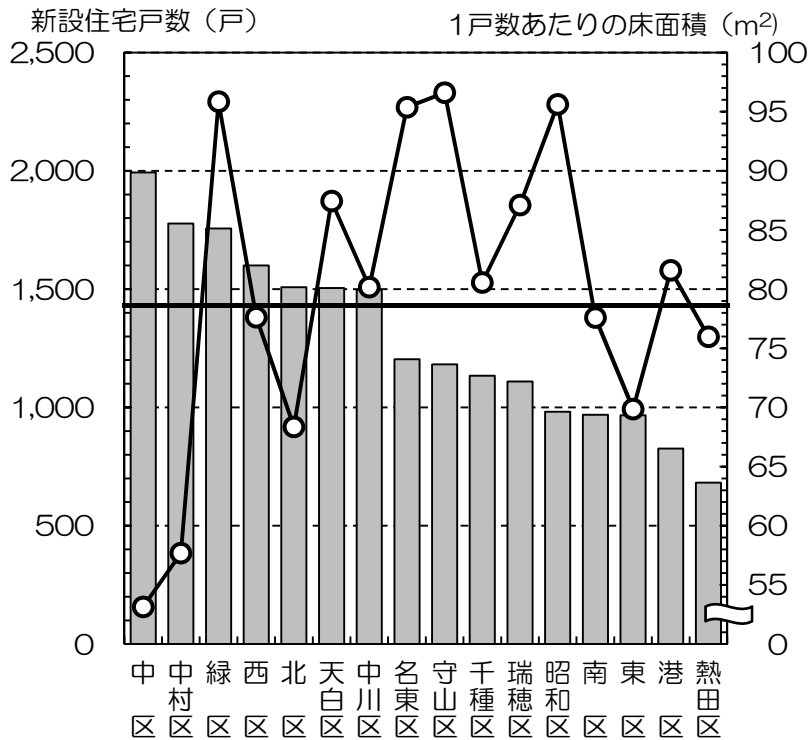
国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成 2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成 7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の新設住宅着工戸数

今回は統計データ（名古屋市統計年鑑）に基づいて、新設住宅着工戸数および1戸あたりの床面積を見ていきます。

図 1: 区別新設住宅の着工戸数および1戸あたりの床面積（平成 26 年）



千種区の平成 26 年中の新設住宅着工戸数を見ると（図 1）、千種区（1,134 戸）は第 10 位となっており、名古屋市全体（20,692 戸）の約 5.5%を占めています。

これらの新設住宅着工戸数の、1戸あたりの床面積を区別で見ると、守山区（96.6m²）、緑区（95.8m²）、昭和区（95.6m²）、名東区（95.4 m²）、天白区（87.4m²）、瑞穂区（87.1m²）、港区（81.6 m²）と続き、千種区は 80.6m²で 8 番目でした。これは名古屋市平均（78.7m²）よりも 1.9 ポイント高い値です。

それでは、千種区の新設住宅着工戸数の内訳を見ていきます。

図 2: 千種区の新設住宅着工戸数の内訳（平成 26 年）

平成 26 年中の千種区の新設住宅着工戸数の内訳を見ると（図 2）、持ち家の割合が緑区（38.1%）、守山区（34.2%）に続いて 3 番目に高く（千種区：23.5%）、貸家は 58.5%で東区（73.6%）、中区（71.9%）、中村区（64.3%）、北区（59.3%）と続き第 5 位となっています。

一方、分譲住宅の割合は千種区が 17.6%と 16 区中最も低くなっています。なお、千種区の新設の分譲住宅の割合は、平成 23 年が 53.1%で第 2 位、平成 24 年は 20.4%で第 16 位、平成 25 年は 40.3%で第 5 位と、年によって偏りがみられます。

